

平成21年度第11回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨

[日 時] 平成22年3月9日(火) 16:00～17:15

[場 所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参 加 者] 9名:

中森えり(那覇市立病院)
山城篤(那覇市立病院)
伊藤昌徳(ハートライフ病院)
當銘正彦(県立南部医療センター・こども医療センター)
神山康武(北部地区医師会病院)
代理:嘉陽晴美(県立中部病院)
代理:宜保成洋(琉大病院放射線部)
宮国孝男(琉大病院第一外科)
川満幸子(琉大病院看護部)

[欠 席 者] 3名:東朝幸(沖縄県北部福祉保健所)

石井岳夫(琉大病院薬剤部)

増田昌人(琉大病院がんセンター)

[陪 席 者] 2名:蔵根瑞枝(沖縄県健康推進課)、柚之原さと子(琉大病院がんセンター)

協議に先立ち、平成21年度第10回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨が承認された。

[報告内容]

1. 臨床検査技師を対象とした研修会についての報告書(資料2)
山城委員より、資料2に基づき平成22年2月26日(金)実施の「細胞診断学研修会」について報告があった。
2. 本年度実績の内部評価について(資料3)
中森部会長より、資料3に基づき本年度実績の内部評価について報告があった。
各委員からメールにて寄せられた点数を全員で再検討し、以下の通り評価が承認された。(メールにて報告された評価点に変更があったのは③と⑪のみ)
 - ① 医師向けの早期診断のための研修会…9点
 - ② 院内および地域クリティカルパス研修会開催…8点
 - ③ 今後の緩和研修会における看護師・薬剤師の指導者、ファシリテーターを育

成する…3点（修正前：2点）。

看護師・ファシリテーターは中部病院で増加しており、薬剤師も北部地区医師会で育成中。指導者については、那覇市立病院の先生による講義も実施されていることから、全てを加味した点数に修正することが全会一致で承認された。なお、本事業は緩和ケア部会が計画しているため、次年度は緩和ケア部会の事業計画として引き継ぐことが提案され、全会一致で承認された。

- ④ がん看護研修会の開催…5点
- ⑤ 認定薬剤師制度の活用、薬剤師向けの研修会実施…10点
- ⑥ 協議会メンバーによる研修会…0点
- ⑦ 医療ソーシャルワーカー向けの研修会開催…10点
- ⑧ 診療情報管理士向けの研修会を開催する…8点
- ⑨ 研修会の人材バンク（講演者リスト）の作成…9点
- ⑩ 県内病院・施設主催の研修会（院内も含む）リストの作成…2点
- ⑪ 放射線技師・検査技師向けメディカルスタッフを対象とした研修会を開催する…10点（修正前：7点）

放射線技師・検査技師の研修部会への参加がなかったため、委員選出から始まったが、短期間にもかかわらずそれぞれ研修会を開催することができた点を考慮し、評価点を10点とすることが全会一致で承認された。

3. 研修リストの作成と公開について

中森部会長より、研修会の案内をタイミングよくホームページに掲載するには、だれか1人が専任で常にバージョンアップするような体制でなければ難しいとの意見があった。伊藤委員からは、業者へのホームページ掲載依頼から実際に掲載されるまでに日数がかかる点が指摘され、各種研修会の演題確定が約2週間前の場合もあるため、実施1ヶ月前の公表はできないのが現状との意見があった。

4. 研修会の人材バンク（講演者リスト）の作成について（資料4-1、資料4-2）

中森部会長より、資料4-1、資料4-2に基づき、沖縄県立中部病院から講演者として看護師3名の応募があったことが報告された。次年度の運用については、次回部会における検討事項とすることが全会一致で承認された。

5. 5大がん地域連携クリティカルパス研修会について（資料5）

中森部会長より、沖縄県がん診療連携協議会地域ネットワーク部会にて、毎週木曜日に「5大がん地域連携クリティカルパス研修会」を開催中との報告があった。

6. 次回の部会の開催日程について

次回の部会（平成２２年度第１回）は、４月１３日（火）１６：００よりがんセンターにて開催されることが報告された。

協議事項：

１． 研修部会主催研修会の修了証発行について

中森部会長より、沖縄県がん診療連携協議会の存在意義を高めるためにも、修了証を発行できれば良いとの意見があった。その中で、各部会で実施している研修会に沖縄県から修了証を発行できれば受講者のモチベーションもあがると思われるため、２年ほど前から県に依頼しているが、具体的な動きが見られない状況であることが報告された。當銘委員からは、県に独自に看護師や薬剤師等の各部門を作成しても良いのではとの意見があった。川満委員からは、研修の下積みをした人を組織としてバックアップする対象にできればとの意見があった。修了証の発行については、引き続き今後の検討課題とすることが全会一致で承認された。

２． 協議会主催で、協議会メンバーによる総論的な講演会の年４回企画、実施について

中森部会長より、前回部会における承認事項について、次年度は協議会メンバーによる総論的な講演会を年２回実施することが確認された。１回目の講演会は、がん条例制定記念として７月中旬に行い、２回目の講演会は地域連携クリティカルパスについて１０月に実施予定。日時・場所等の詳細については、増田委員欠席のため次回に持ち越し。

３． 本年度実績の外部評価委員の推薦について

県外の外部評価委員２名について、医師は増田委員から、看護師については中森部会長から適任者を推薦することが前々回の部会で承認されていたのを受け、中森部会長より、県外の看護師４名が推薦された。

- （１）藤田佐和 高知女子大学看護学部
- （２）兵藤千草 愛知県がんセンター中央病院
- （３）大西和子 三重大学医学部
- （４）古田里恵 静岡県立がんセンター

県内の委員１名については、大浜事務長（大浜第一病院）および備瀬信子前看護協会会長が候補に挙がっていたが、當銘委員より、県外委員１名が看護職から選出されるのであれば、県内からは看護職以外の方に依頼した方が良いのではとの提案があり、県内委員には大浜事務長を推薦することが全会一致で承認された。

4. 平成22年度年間事業行動計画における責任者・担当者の選定について（資料6）
「2. 今後の研修会における看護師・薬剤師の指導者、ファシリテーターを育てる」について、次年度は緩和ケア部会の事業計画として引き継ぐことが今回（第11回）部会「報告内容」2. ③にて承認されたのを受け、研修部会の次年度行動計画からは本事業を削除することが全会一致で承認された。評価責任者・担当者の選定については、次回部会における継続審議とする。

5. 次年度「早期診断のための研修会」日程について（資料6）
中森部会長より、次年度の「早期診断のための研修会」は7月第3木曜日から開始することが提案され、全会一致で承認された。第2回以降の実施日は次回部会の協議事項とし、各研修会の担当医院は以下の通りとすることが承認された。

- 卵巣 … 中部病院
- 前立腺 … 琉大病院
- 胆嚢・胆管 … 北部地区医師会
- 膵臓 … 那覇市立病院

中森部会長より、各担当医院は次回部会までに推薦可能な講師を挙げておくよう依頼があった。なお、推薦対象医師は必ずしも担当医院の所属でなくとも可。

6. その他

①放射線技師・検査技師向けの研修会について

年間最低2回行うこととし、実施時期は各担当に一任することが承認された。具体的な目標については、来月～再来月までに設定することが中森部会長より依頼された。

②次年度部会委員について

沖縄県健康増進課の蔵根主査および中部病院の嘉陽地域連携室看護師長が転勤対象となり、次年度部会委員については後任者に引き継がれることが報告された。